



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 372

Juli 2022

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <https://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

会員の皆様とつながるために ネット環境を見直します

●ツイッター、Instagram始めました

神戸日独協会では、① 会員の皆様との交流をさらに活発にするため、

② よりタイムリーな情報をスピーディに発信するため、

③ 情報をビジュアル化しコンパクトにするため、

公式ツイッター、Instagramを始めました。まだスタートしたばかりで十分に機能しているとは言えないかもしれませんが、ぜひフォローをお願い致します。

また、共有を希望される素材(写真)・記事などございましたらメールにてお知らせください。

●ホームページをリニューアルしました

総務省(情報通信白書令和3年版)によると、昨今、スマートフォンの利用率は全世代で約90%、60歳以上でも約80%に達しています。ホームページもスマートフォンで閲覧するためのレイアウトがふさわしいものと考え、リニューアル致しました。

神戸日独協会のホームページをスマートフォンで一度ごらんください。



ツイッター
Twitter



Instagram
Instagram



ホームページ
Homepage

主催 神戸日独協会
共催 神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート、神戸大学グローバル教育センター
協力 兵庫EU協会

駐日EU代表部元公使による時事問題特別講演会

神戸日独協会は神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート、神戸大学グローバル教育センター、兵庫EU協会との共催にて、現在神戸大学特別招聘教授として教鞭を取っていらっしゃる駐日EU代表部公使・駐韓EU代表部大使を歴任されたミハエル・ライター Michael Reiterer氏をお招きして、時事問題特別講演会を開催します。

3年にわたるコロナ禍に加えて、2月以降のロシアのウクライナ侵攻とそれによる燃料不足や食料不足、そのための物価高騰など、政治・経済・社会的に激動化しだした時代の中、ウクライナ侵攻は今後の日本、そしてEUにどんなインパクトを与えていくのでしょうか。安全保障・外交・戦略を専門とするミハエル・ライター氏に講演をしていただきます。

オンライン(Zoom)発信しますので、対面形式をご希望されない方はオンラインをご利用ください。公開講演会ですので、非会員の方もオンラインでご参加ください。

講演題目 : The impact of the war in the Ukraine on Japan and the EU
「ウクライナ戦争の日本とEUへの影響」(使用言語:英語、逐次通訳つき)

講師紹介 : ミハエル・ライター Michael Reiterer 氏
ブリュッセル・スクール・オブ・ガバナンス 安全保障・外交・戦略センター特別教授
インスブルック大学にて法学及び国際政治学を修める。オーストリア外務省を経て、欧州委員会の対外関係総局および改組後の欧州対外行動庁(外務省に相当)においてアジア欧州会合担当参事官、駐日EU代表部公使などを歴任。駐韓EU代表部大使を最後に退官後、EUの外交政策およびアジアとの関係(特に日本と韓国)、地域間主義、安全保障問題、新しい外交形態、移民問題、人権問題などに焦点をあて研究をすすめている。

司会・通訳 : 橋田 努氏(神戸大学准教授)

日時 : 7月20日(水)18:15~19:45(18:05開場)

場所 : 神戸国際会館セミナーハウス804号室(神戸市中央区御幸通8-1-6)

定員 : 会場参加30名

※定員になり次第締め切らせていただきます。オンラインの定員はありません。

参加費 : 無料

申込 : 会場参加、オンライン参加とも事前申込制

7月19日(火)17:00までにメール(info@jdg-kobe.org/会場参加またはオンライン参加のどちらかを明記)もしくは電話(078-230-8150)にて

感染対策 : 会場入場時の検温・手指消毒及び講演時のマスク着用の徹底を図る

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館主催

「大阪ドイツ映画祭2022」のお知らせ

8月11日(木・祝)にドイツ総領事館主催の第3回「大阪ドイツ映画祭 Deutsches Filmfestival in Osaka」が開催されます。SFや日常に潜むドラマ、家庭を舞台にした喜劇やロードムービーなど現代を生きるすべての人々にかかわるテーマを取り上げた現代ドイツの映画が日本語字幕付きで上映されます。

日 時 : 8月11日(木・祝)10:00~18:50

会 場 : 大阪工業大学梅田キャンパス OIT 梅田タワー 常翔ホール

上映作品 : 「50年後のボクたちは」 "Tschick"

10:00~11:40(93分) / ファティ・アキン監督 / 2016年

「はじめてのおもてなし」 "Willkommen bei den Hartmanns"

12:10~14:10(116分) / サイモン・バーホーベン監督 / 2016年

「陽だまりハウスでマラソンを」 "Sein letztes Rennen"

14:40~16:30(105分) / キリアン・リートホーフ監督 / 2013年

「アイム・ユア・マン 恋人はアンドロイド」 "Ich bin Dein Mensch"

17:00~18:50(107分) / マリア・シュラーダー監督 / 2021年

▼内容の詳細は下記のサイトをご覧ください。

<https://japan.diplo.de/blob/2480334/171a769f428960794e9f5d8105ea2ec4/dff2021-data.pdf>

入 場 : 要予約。入場無料ですが対象は中学生以上です。

入場は上映開始20分前より。上映開始後の入場禁止。

申 込 : 下記のサイトへアクセスし上映作品ごとにお申込みください(先着順)。

<https://japan.diplo.de/ja-ja/vertretungen/gk/dff-kontakt>

8月10日(水)23:59までにお申込みください。

公開中ドイツ映画『さよなら、ベルリン またはファビアン の選択について』

7月15日(金)より神戸朝日ビル内のシネ・リーブル神戸にて『さよなら、ベルリン またはファビアン の選択について』(英題 Fabian – Going to the Dogs) (2021年作品、ドイツ語)が上映されています。原作は「飛ぶ教室」などで知られる児童文学で有名なエーリヒ・ケストナーの唯一の大人向け長編小説「ファビアン あるモラリストの物語」です。

1931年のナチスの足音が聞こえてくるベルリンを舞台に、世界が大きく変わる予感と不安の中で惑う作家を目指す青年の恋と惑いが描かれています。ドイツ国内の映画賞主要3部門を受賞した評価の高い作品です。

実行委員会(月例会)と Stammtisch mit Wein 報告

理事 大西 晋輔

実行委員会(月例会)

6月19日14:00から実行委員会(月例会)が開催されました。コロナ禍で休止状態であった実行委員会の復活第一回でした。

主な内容として以下の2つでした。

- ① 会員企業や兵庫県や神戸市の新たな主要企業を紹介する講演やイベントを夏の講座の空いた時間帯を活用して実施する。
- ② Twitter や Instagram などのSNSを活用した広報活動の強化。

日独交流160周年の際に、法人会員から取り組んでいる事業についてのお話をいただきましたが、それを更に掘り下げることや、他にも多くの企業がドイツと関わりがあり、また兵庫県や神戸市の主要な産業の担い手となっていることを知ることで面白いです。

また、Twitter や Instagram などでイベントの予定や活動の様子を発信することで、裾野を広げることができると思います。同時に、Twitter や Instagram の登録者数をどう増やすのか、発信する内容についても、誰に向けてどんな内容を発信するのかについて、考えてみるものなかなかいい案は出ませんでした。会員の皆様からも案があればお願いします。

かつての実行委員会は協会活動の企画・準備・実施を担っていただきましたが、コロナ禍が未だ完全に収束していない現状では「月に一度顔を合わせて、広く協会活動を話し合い、情報交換をする場としよう」ということで、「月例会」とすることになりました(ふさわしい名称募集中)。積極的なご参加をお待ちしています。

7月の月例会開催のお知らせ

日時 : 7月16日(土)16:10~17:30

場所 : 神戸日独協会会議室

協議 : 開催行事、ホームページの刷新・SNSの開設など

ご出席いただける方は、電話・メールにてご連絡ください。

Stammtisch mit Wein

15:30からは続けて Stammtisch mit Wein の第一回が開催されました。会員の武村陽子さんから、「9ユーロチケットとドイツ観光」という話題を提供していただきました。

「9ユーロチケット(9-Euro-Ticket)」とは、6月1日~8月31日までの3ヶ月間は1ヶ月9€でドイツ全土の公共交通機関が利用できるものです。ドイツ政府による燃料や電力の高騰化による国民対しての救済措置の一環として実施されています。

利用できるのはローカル列車、地下鉄、トラム、バスなどで、ICEやICなどの都市間を結ぶ特急列車やFLIXTRAIN(フリックストレイン)など一部の民間鉄道会社、またツークシュピッツェへの登山

鉄道は利用できないとされています。JRの在来線が乗り放題の「青春18きっぷ」も5日間程度だったことを考えると、格安のチケットです。

「9ユーロチケット」についての話が中心でしたが、そこから派生して、武村さんが添乗された時のエピソードや、尾辺さんからはドイツの鉄道事情、車ごと運んでくれる列車は日本にもあればなど、ワインと共にお話も進みました。また、徳島からもお越しいただいた方などこれまでなかなか集まらなかった方もご参加いただきました。

今回は法人会員のオスモ&エーデル(株)さんのワインを賞味しながら楽しい歓談のひと時でした。

次回は、7月16日(土)17:40から。月例会の後なので、あわせてご参加ください。

ドイツ語特別講座受講感想

第2回「話す言葉、スピーチアカデミックライティング、文学—様々なテキストの構成」

会員 岸田 貴子(L1クラス)

「言語は同じだが文化は違う」という言葉から講座は始まった。文法は人から人へ伝えたり、受け入れまた戻すことで人間関係を円滑に行うために存在する。ケンカをしようと思えば 文法なんか要らない。確かに日本語でも場面に応じた表現を適切に使うことはマナーの一つでもあり、目上の方に尊敬語なくして話そうとすればとんでもない。人間は、○⇄○か、○ | ○をどちらか選ぶそうだ。ドイツでは、”Gehen wir heute Abend essen?” と聞かれた場合、聞き返すのが一般的であり親しい間柄ほど助動詞を使う。A:Gehen wir heute Abend essen? B:Ich muss nach Osaka.Es tut mir Leid! muss には背景があり Leid は悩みを表現し私以外に理由があり悩んでいることを伝えている。B:Entschuldung. Ich fahre nach Osaka. 断るのは簡単であるが相手への気持ちが入っていないと捉えられる。基本的にドイツ人は、自分のことしか話さなく、ヨーロッパでは人を敵か友達かに分ける。そのため私たちは敵でないことを伝え、わざとでないことを説明することが大切だと話された。「日本ではどうであろうか？」とふと考えてしまった。これが文化の違いなのかも知れない。

次は、日本語もドイツ語も語順は同じであり、文体を用いて主語なしの不定詞で考えたり、使うことが出来ればドイツ語習得への近道であるとの説明があった。例えば、「今朝は8時に家を出る」は日本語と同じ語順で次の不定詞句になる：

1. Am Morgen um 8 Uhr das Haus verlssen →出発点。
2. Er am Morgen um 8 Uhr das Haus verlässt →主語の設定。接続詞 dass を用いて Ich denke, dass...と見なされる。
3. Er verlässt am Morgen um 8 Uhr das Haus. →普通の語順として動詞を主語の後へ。
4. Verlässt er am Morgen um 8 Uhr das Haus? →主語と動詞の入れ替えて疑問文に。

この操作により表現が可能となる。語順に迷った時には先ずは不定詞句で捉えることが肝要であるとの認識を得ることが出来た。私たちは自己紹介などで、Ich heiße NN. Ich komme aus Japan. Ich wohne~と言いがちである。しかしピリオドの繰り返しは相手に要求しプレッシャーを与える。Zu 不定詞句や dass などの接続詞を上手く活用して、本動詞の変化の繰り返しを避け、いつ省略が可能かどうか考え、繰り返しには気をつける。Zu 不定詞句は聞き手にとって文法なし

で内容に集中でき説得され、政治家などがよく使うそうだ。ここでシュタインマイヤー大統領が国民に呼びかけた演説を引用してみます。So waren wir es gewohnt. So gehörte es dazu. Doch dieses Jahr ist alles anders. Es tut weh, auf den Besuch bei den Eltern zu verzichten. Großeltern zerreit es das Herz, nicht wenigstens an Ostern die Enkel umarmen zu können. 不定詞句で捉えるとはこの事だろう。またヨーロッパでは長い文章の間に短い文章を置きました長い文章を置く傾向がある。これで教養があるかどうかわかるそうだ。日本語でも、起承転結として文章の構成が用いられている。一般に本を読むとき音読する人はいないけれど、しかし活字を目で追いながら人は無意識にリズムを感じとっているそうだ。今回の特別講座では、ドイツ語の特性は、島国の日本語と異なりヨーロッパ大陸の中で他民族との他者理解という役割のために、時代を経て言語は同じだが文化の違いが反映されてきたと想像すると、より一層ドイツ語を学ぶことが楽しくなる。聞きたい知りたい事は山ほどあるが次回を楽しみに。今回の講座を企画していただいた Stefan Trummer-Fukuda 先生、柘田先生 貴重な時間を割いて教えていただきありがとうございました。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。ご投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポイント、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付データにて毎月第2月曜日までに送信)

イエナ便り — イエナの国際性 —

会員 竹中ららら(イエナ在住)

7月になりドイツも暖かい日々が続いています。6月半ばの週末は、イエナの最高気温が36度となりドイツ全土で最も暑い町に記録されました。一方で雨の後や夜になると気温が下がり、湿度も低いためさっぱりとしています。

暖かさは自然の成長をさらに促します。森のそばにはサクランボが自生しており、通学途中にいくつか収穫して大学の休み時間に友人と新鮮な果実を味わっています。野生のサクランボは大抵二種類あり、Sauerkirsche と Süßkirsche の木をよく見かけます。

果実に加えて、この季節には鮮やかな色のバラや夏のライラック(Sommerflieder)が咲いています。ライラックの多くは、5月から6月に開花しますが、この種のは少し時期を遅れて花を咲かせます。またラベンダー(Lavendel)も一般家庭の庭によく見られます。この花は地中海沿岸の原産で、ローマ時代には入浴香水とされていました。Lavendel という名前は「洗う」という意味のラテン語 „lavare“ に由来します。

ドイツ語以外の外国語や国・地域に関して、最近は様々な国、地域、言語、文化に関わる催しが多く行われています。例えば、ドイツとフランスの国際青年組織DFJW(Deutsch-Französische Jugendwerk)はこれまでに900万人以上の若者の交換プログラムを支援してきました。

この団体によるコンサートが先日、イエナ市の旧外壁の地下の丸天井のある穴倉 (Gewölbekeller) で開催されました。この日6月21日は夏至にあたり、昼が最も長く、夜が最も短い日です。フランスからドイツに移住した若者やドイツの学生が双方の言語で歌を歌い、音楽に関するゲームをして長い夜を楽しみました。

また先週末は、イエナの移民組織 Iberoamerica e.V.による夏祭り„Verano“が開催されました。この団体は、移民の社会参加と、民主的で多角的な社会の形成をその活動の目的としています。祭りでは、ドイツ語とアラビア語のデュエット、中国の合唱、ニカラグアのロック、フラメンコのショー、ブラジルのダンスなど、それぞれの国・地域の音楽や踊りが披露されました。入場は無料で、各地の食べ物や民族衣装の販売もありました。

大学も外国からの学生の受け入れに積極的です。現在、大学の国際事務局による、高校生のための数日間の大学生活体験 (Schnupperstudium) が行われています。先日はメキシコ、ペルー、グアテマラ、ブラジルのラテンアメリカ4か国からの生徒が大学を訪問しました。彼らは母国でドイツ語を第二外国語として学んでおり、卒業後はイエナ大学への留学を希望しています。大学では隔週で小さな国際イベントが開かれており、毎回様々な国・地域からの学生が出身地の地理、文化、歴史についてのプレゼンテーションをしています。この催しにラテンアメリカの高校生が参加し、学習言語のドイツ語を使い自分たちの国の紹介をしてくれました。また伝統的な踊りや演劇の披露もあり、生徒が真剣に取り組む様子に胸を打たれました。この催しの毎回の楽しみは世界の食事でもあります。彼ら自国のお菓子をドイツ語で説明しながら振舞ってくれました。

イエナは国際性という点でオープンであり、多様性に敏感な町です。催しをきっかけとして、多くの人の中に国際的な他者・異文化理解のための芽が生じることを望みます。

ドイツ語談話室

第212回 「私の健康法」

日時：2022年6月18日(土) 14~16:00

場所：神戸日独協会会議室

今回の司会は原田耕作氏が担当し、自身、健康を保つことが年金生活にとって最重要課題であり、そのために毎朝NHKラジオ体操を実践していることを話した。ラジオ体操をすることで、自分の体のどの部分が凝っているのかがわかり、一日の良いスタートになる。

今回は、スイスから1年前に日本に来られたご夫妻も参加されたので、お互いに自己紹介をした。以下に、参加者の皆さんのテーマに関する発言の一部を紹介する。

- ・ 呼吸はとても大切な健康の要素で、ゆっくりと十分に吸い込んでゆっくりと吐き出す事。呼吸をするときに生命を感じながらやる事。単に筋肉の動きだけでなく全精神を込めてやる事が大切。
- ・ 栄養の事をよく考えて、野菜や果物を多く取り入れた食材を買う。また、食材は地産地消を考えて購入している。体の健康と精神の健康のバランスを図る。
- ・ 良い食事をとることで、身体的にも精神的にも良い気持ちになれる。また、毎日ウォーキングを心がけていて、緑の中を歩くことで、心も体も爽快になれる。

- ・ 身体的な健康には毎日体操をしており、生活の一部となっている。また、頭の体操にはドイツ語の勉強が役立っている。
- ・ テニスとゴルフが身体的な健康の源になっている。精神的な活動には、外国語、ドイツ語・フランス語・英語の学習が役立っている。また、茶道の精神を実践している。
- ・ コロナ渦の為にしばらくフィットネスクラブに行っていなかったが、4月からまた通い始め、体力の維持に努めている。また、ポールウォーキングを毎日30分しているが、とても健康に良い。
- ・ 体力の維持を計るために、以前からやっている卓球をずっと続けている。また、ウォーキングも続けていて、体力の向上に努めている。
- ・ 体操を行っている。特に、ぶら下がり運動は背骨を伸ばすので、気持ちが良いし、体調も良い。また、頭の体操には、長年碁を打っている。
- ・ よく食べよく話すのが健康の基本。ヨガは20年来やっているし、目のトレーニングもしている。バレエやダンスでバランスのトレーニングもする。手のひらは全身に繋がっているのも、指もみの運動が全身の健康に有効。薬は全く服用しないで、自分の健康は自分で守る。

今後のドイツ語談話室の予定

第213回 7月16日(土) 14~16:00 テーマ : お気に入りの飲み物

第214回 8月20日(土) 14~16:00 テーマ : 東西問題

Protokoll der 212. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit : Samstag 18. Juni 2022, 14 bis 16 Uhr

Thema : Wie man gesund bleibt

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und erzählte, dass die Gesundheit für ihn, einen Rentner, das wichtigste Thema ist. Um gesund zu bleiben, macht er jeden Morgen leichte Gymnastik mit dem NHK Radio. Dabei fühlt man, wo der Körper nicht genug beweglich ist. Bei der Bewegung merkt man, welcher Teil des Körpers steif ist, und man findet einen guten Start in den Tag.

An dieser Gesprächsrunde nahm ein Ehepaar aus der Schweiz teil. Sie wohnen seit einem Jahr in Japan und kamen zum ersten Mal zu unserer Runde. Am Beginn haben wir uns gegenseitig vorgestellt.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema.

-Das Atmen ist ein wichtiges Element der Gesundheit. Man muß langsam tief einatmen und langsam ausatmen. Dabei muß man sich das Leben fühlen. Das Atmen ist nicht nur die Bewegung der Muskeln sondern auch die Bewegung der Seele.

-Man muß die gut ernährte Lebensmittel mit verschiedene Obst und Gemüse kaufen. Beim Einkaufen muß man auch achten für „Konsum und Produktion in derselben Region“. Dazu muß man die körperliche Gesundheit und geistige Gesundheit balancieren.

-Mit einem guten Essen kann man sich körperlich und auch geistig wohl befinden.

Tägliche Wanderung im Grünen macht man körperlich und geistig erfrischend.

-Tägliche Gymnastik ist ein Teil des Lebens und nützlich für körperliche Gesundheit.

Deutsch Lernen ist für geistige Gesundheit sehr günstig.

-Für körperliche Gesundheit sind „Tennis“ und „Golf“ sehr nützlich. Lernen Fremdsprache wie Deutsch, Französisch, Englisch, usw wirkt sehr gut für geistige Gesundheit. Dazu wirkt auch das Wesentliche der Tee-Zeremonie für Gesundheit.

-Wegen der Coronakrise wurde das Besuch am Fitness Club untergebrochen. Seit April wurde aber das Fitness Training wieder angefangen. Das tägliche 30 min. lang Nordisch- Stock-Walking wirkt sehr für die Gesundheit.

-Das Tisch-Tennis ist nützlich um die Gesundheit zu erhalten. Dazu hilft Wanderungen die Körperkraft zu verstärken.

-Das Herunterhängen, ein Teil der Gymnastik, ist sehr wirksam für die Gesundheit. Diese Bewegung zieht und entspannt die Wirbelsäule und man fühlt sich sehr wohl. Das Go-Spiel ist sehr brauchbar für die geistige Gesundheit.

-Gut essen und gut unterhalten sind das ABC der Gesundheit. Die Karriere der Joga-Übung ist über 20 Jahre und auch Augen-Übung ist sehr lang. Für das Balance-Training sind das Ballet und Tanzen sehr effektiv. Die Handfläche ist mit der ganzen Teile des Körpers verbindet. Das Massieren der Finger wirkt deshalb sehr gut auf der Gesundheit des ganzen Körpers. Das Motto ist, ohne Medikamente und selbstversorgung der eigene Gesundheit.

Nächste Treffen

Samstag, 16. Juli 2022, 14 bis 16 Uhr, Thema : Mein Lieblings Getränk

Samstag, 20. August 2022, 14 bis 16 Uhr, Thema : Ost /West Probleme

Stammtisch mit Zoom

オスモカラー VS ケミカル天国日本

今回お話しいただくのは、法人会員オスモ&エーデル株式会社の専務取締役 大黒 義之さんです。オスモ&エーデルと聞くと思い浮かぶのは、ドイツの家とオスモカラー。

もともと製材業から始まったオスモという会社が Münster にあり、その会社が作る木の家用の建材と、そこで使われる塗料オスモカラーの輸入代理店として30年以上前に契約したのが会社の始まりとか。

ドイツの家の特長というと、断熱性、気密性が高く、それが省エネに繋がります。塗料オスモカラーは、石油から化学合成されたものでなく、ひまわり油などの植物油脂を主原料とする環境重視の塗料です。そのひまわり油の60%を産出するウクライナが今戦争で出荷できない状況、また、ひまわり油の20%はロシア産で、目下大変困っています。

オスモカラーと日本で普通に使われている塗料との一番の違いは、日本の塗料が下塗→中塗→上塗2回という工程を要するのに対して、オスモカラーは一回塗るだけでいいということ。一缶当たりの値段だけ見るとオスモカラーは高いかもしれないけれど、下塗・中塗と何缶も必要とせず、工

程も一回で済むので、トータルとして時間の節約もできます。

そして一番のポイントは、ママが安心して使えるということ。ドイツでは塗装業に携わる40%が女性で、男性より塗るのが上手と、女性のペンキ職人が増えているとか。子供を育てる母親は安全性に敏感です。ドイツは化学物質に対しての規制がとて厳しく、ドイツ人が日本の100円ショップを見ると、合成樹脂が余りに多く使われているケミカル天国日本に吃驚するそうです。日本でもそのうちケミカル規制が厳しくなるかもしれませんが、今、私たちが気をつけるとすれば、ヘンな臭いのするものは買わないこと。

塗料で大きな問題は、製品を作ったあとの廃液です。日本では洗ってから流して処理していますが、オスモカラーは廃液の再利用を考えました。そこで以前は処分していた廃液の成分を分析し、次に作る時にそれも原料の一部として使い、その分を減らして混ぜて作るようにしました。

次に取り組んだのが、マイクロプラスチックの問題です。EU圏内で原因を調べたところ、その原因の1番目がタイヤからすり減ったもの、2番目が…と続き、そのずっと下の方に、“ペンキの剥げ落ちたもの”がありました。オスモカラーはもともと植物由来なので土に返るのではないかと生分解性試験をしたところ、最後はコンポストで分解できると分かり、問題解決です。

更に、触り心地の測定です。お肌のツルツルを測定できる山形大学の協力を得て、見た目だけでなく触り心地もいい塗料の開発をしています。

そしてこれから取り組むのが、大阪万博。大阪万博では基本的に木材を使うことになっていますが、戦後植えた杉の木が伐採の時期を迎えています。樹木も若いほど光合成が盛んで、環境のためにも伐採は必要なのです。

今回はとても勉強になり、環境先進国ドイツを感じました。

(理事:押尾愛子)

7月の Stammtisch mit Zoom のお知らせ

7月の Stammtisch mit Zoom はお休みさせていただきます。

8月の Stammtisch mit Zoom については、改めてお知らせします。

ウクライナ侵攻は原子力エネルギーのカムバックをもたらすか？

会員 栢田 節子

今年の6月は例年になく猛暑に襲われ、電力不足が懸念され節電が求められました。気候温暖化を軽減するために二酸化炭素の排出削減が求められ、化石燃料から再生可能エネルギーへの「エネルギー転換」が各国で進められています。特にドイツでは福島原子力発電所事故を受けて当時17基あった原子力発電所のうち8基が稼働停止され、残る原発も順次停止され、現在は3基のみが稼働してドイツの電気消費量の約6%を供給しています。この残る3基も2022年度末には稼働を停止することになっていて、2011年に決定されたドイツの脱原発の期日が迫っています。しかし2月末のロシアによるウクライナ侵攻でドイツではガス不足に陥り、ロシアへのガス依存を減らすために原子力発電所の稼働延長案が浮上してきました。これを受けて3月8日に連邦経済省と連邦環境省との連名で「原子力発電所の運転延長に関する検討結果」が報道発表されました。

東京のドイツ大使館ホームページによれば、この検討結果の内容は、「原発の運転期間延長は果たしてエネルギー安全保障に資するのか、資する場合どの程度貢献するのか、特に来季の冬に懸念されるエネルギー不足の解消に資するのかという点で、また数年間延長された場合の効果も検討された」とのことです。「検討の結果両省は、運転延長の効果は非常に限定的であるうえ、莫大な経済的コストや憲法上・安全技術上のリスクを伴うとの見解に達しました。また、利益とリスクを比較検討したところ、現存する3つの原発の運転延長は現在のガス供給危機を考慮してもなお、推奨できない」との結論になったとのこと。

DWの記事によれば、再生可能なエネルギー資源の拡充には多くの時間が必要であるために、核エネルギーが真の代替の可能性であると認識している科学者や政治家もいるが、それは良策ではないと考える識者も多いくるとのこと。原子力発電問題では連立政権パートナーであるドイツ社会民主党(SPD)と緑の党は運転期間の延長に対してはあらかじめ拒否の態度をとっているが、野党のみならず連立メンバーである自由民主党(FDP)でも、更なる原子力利用の支持者が存在していて、意見の相違が広く見られるとのこと。

原発の稼働を延長した場合には、現在の核燃料棒の耐用と新しい燃料棒の調達には時間がかかることが懸念されています。また連邦経済省と連邦環境省は多くの原発がすでに停止されていて現在専門家集団が十分に見出し得ないので、継続運転に必要な人的資源はもはや存在せず、まずは再度組織されなければならないと、操業の継続を懐疑的に見えています。これに対して業界の代表者たちは「プラントはまさに運転終了後でも操業時と同様に全ての安全が満たされていなければならないので、専門知識を持った人員は基本的には集結できる」と違った目で見えています。現在稼働中のRWE所長の「原発の終了について議論するのではなく、実際に電力不足の問題を解決する事柄、つまり天然ガスインフラ基盤の建設や天然ガスの備蓄を気かけなければならない。特にエネルギー転換が加速されなければならない」との言葉で記事は結ばれています。

Deutsche Welle: Bringt Putin uns die Atomkraft zurück? (22.06.2022)より。

参考: 東京ドイツ連邦共和国大使館ホームページ「お知らせ」

(このコーナーは、神戸日独協会ドイツ語講座講読クラスLN(火曜日)の受講者が授業で読んだ記事の中から興味深い up date なニュースを随時会報にて紹介しています)

事務室からのお知らせ

開室時間の変更

4月より事務室の開室時間を変更しました : 月～金曜日 14～17:00

お盆休みのお知らせ

神戸日独協会はお盆休みのため、8月8日(月)～8月12日(金)を閉室いたします。なお、この間ドイツ語講座とドイツ文化教室もお休みになります。

Das Büro der JDG Kobe ist von 8. bis zum 12. August 2021 wegen der Sommerferien geschlossen.

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。印刷は会長と会員の二名で行っています。是非ともお手伝いをお願いします。次回の印刷と発送は**8月18日(木)**を予定しています。お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

印刷 : 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1
国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度
発送 : 神戸日独協会にて、12:30～

会議室貸し出しについて

神戸国際会館19階、神戸の山手の景色をのぞむ会議室を活用してみませんか？
現在、協会の会議室は、各講座や文化教室に利用されていますが、主に昼間は空いている時間帯があります。この時間帯を、会員のみなさまの様々な会合に、ぜひご活用ください。

利用料金 : 1500円/時間

お申し込みは会員に限りますが、利用者の中に会員外の方が含まれていても結構です。
事務担当者の勤務時間(14～17:00)外にご利用の場合は、鍵を貸与します(鍵の保管および貸室の管理は、申込み会員にてお願いいたします)。

利用案内 : 会員の方でご興味のある方は、是非ともご参加ください。

●毎月第4日曜日14～16:00「ポーセラーツ(磁器へのパターン転写)」(責任者: 柘田節子)

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込締切日など
7月16日(土) 14:00～16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
7月16日(土) 16:10～17:30	月例会	神戸日独協会会議室	当日参加も可
7月16日(土) 17:40～19:30	Stammtisch mit Wein	神戸日独協会会議室	当日参加も可
7月20日(水) 18:15～19:45	駐日EU代表部元公使による 時事問題特別講演会	神戸国際会館 セミナーハウス804号室	7月19日(火)